

企業概要

- 社名：明治食品工業株式会社（静岡県） <https://www.meiji-sk.co.jp/outline.html>
- 従業員数：14人 ■ 資本金：10百万円
- 売上高：1.4億円
- 事業内容：羊羹等の製造卸
- 知的財産：商標1件



相談のきっかけ

春吉富士商標をメインブランドに

お土産グランプリの受賞商品を中心にビジネスモデルの構築

会社の収益改善のために、主力商品である富士山羊羹についてパッケージデザインを改善し、価格改定を行い全国のおみやげグランプリで準グランプリを受賞した。この商品ブランド「春吉富士」をベースに意匠出願等を行い会社全体のビジネスモデルを再構築したい。

春吉富士ブランドの新商品開発

春吉富士ブランドの商品は年間12百万円程度の売り上げであるが、2020年までに売上20百万円を目指す。また、同じ「春吉富士」ブランドの商品開発を行いさらに収益性を改善したい。

課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
ビジネスモデルの再整理	OEM主体のビジネスモデルから、自社商品をターゲット顧客へ提供するビジネスモデルへの移行の検討及びパートナーとなる企業の再確認を行う。 中小企業診断士
ブランド戦略検討	新たに立ち上げた自社商品のための春吉富士ブランドの位置づけを明確化して、会社全体のブランドとしてブランド力の向上を図る。 ブランド専門家 中小企業診断士
ブランド戦略を踏まえた製品ラインの整理	春吉富士ブランドを既存の製品にも展開し整理統合を図り、新規販路を開拓して販売チャンネルを拡大することにより売り上げを拡大する。 ブランド専門家 中小企業診断士
新用途の意匠権取得	販売チャンネルのひとつであるノベルティ分野のために新たなデザインを構築し意匠出願を行う。デザイナーから意匠権出願の権利と著作権の譲渡を受ける契約を締結する。 弁理士

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
ビジネスモデルの再整理	ビジネスモデルを整理したことにより、会社としてどの方向に進もうとするのか、またそれをどのように進めるのかが明確になり、社員の力を結集しやすくなった。
ブランド戦略検討	春吉富士を当社の統一ブランドとして位置づけ、自社製品の高級化を図り、利益率の改善し全体として利益拡大に結びつける方向性を明確にできた。
製品ラインの整理	OEMの場合、粗利が低いことが問題となっていたが、これらノーブランド品の整理を行う事で、春吉富士製品の生産ラインを確保することができた。
意匠権取出願	ノベルティ向けに開発した1個包装の羊羹用台紙の意匠出願を2件を行った。

社長の支援成果についてのコメント

会社としての方向性、ブランド戦略の明確化を実現できました。近年の社会構造の変化と、お土産消費者ニーズの多様化を考え、小さく、手取りやすい、尚且つ利益率の良い商品での展開を中心とした戦略で取り組んでいきたいと思っております。

リーダー： 東條 寮（中小企業診断士）

支援担当者： 中村宏之（静岡県知財総合支援窓口）